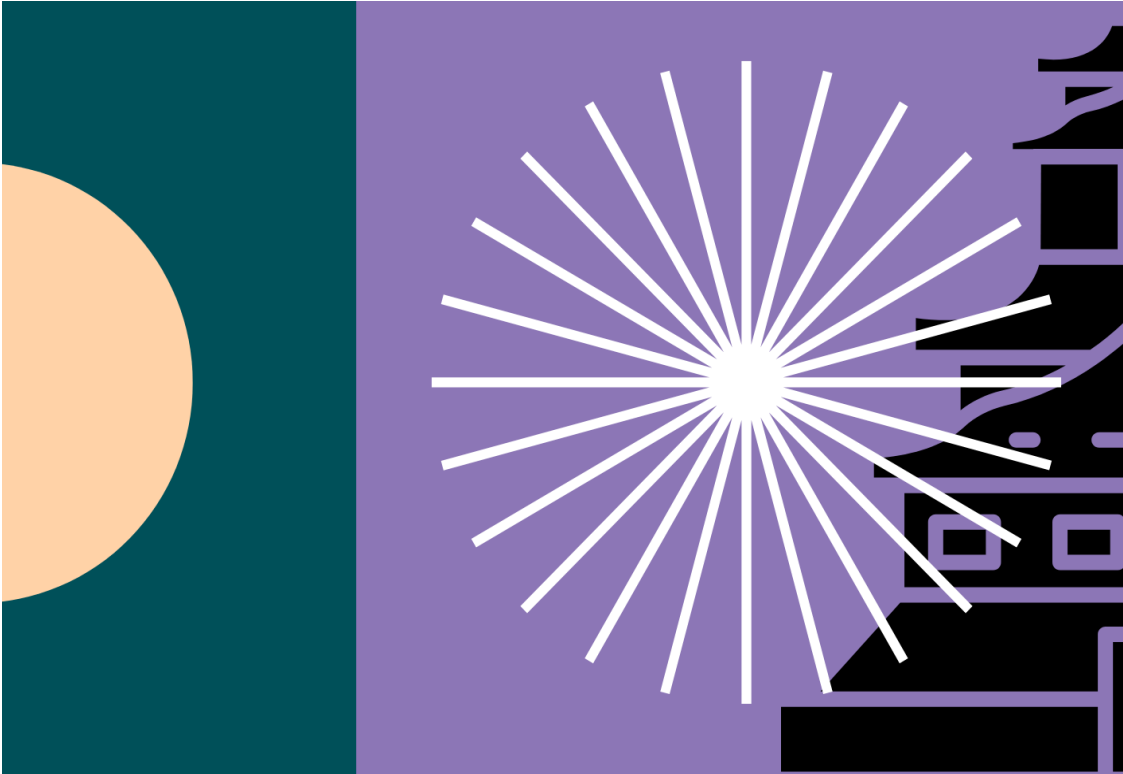
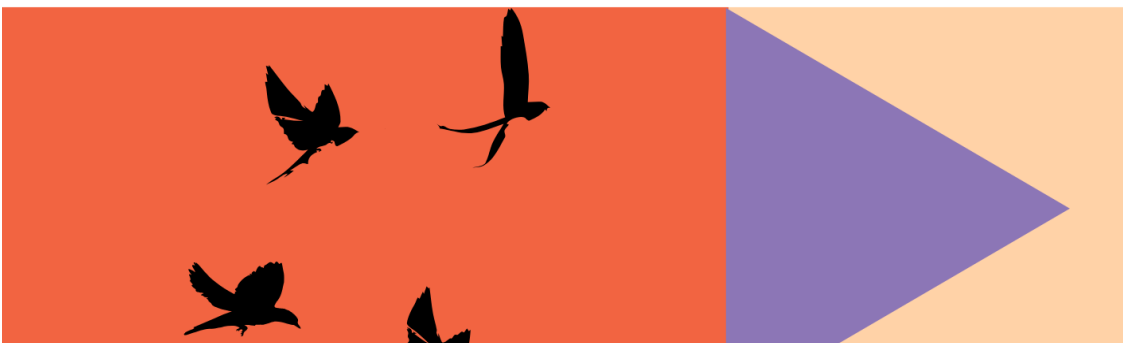




正光寺通信

おりん -ORIN-



本通信のご案内

【はじめに】

- ・寺報の趣旨
- ・正光寺読物《内観念仏》

【仏事】

- ・施餓鬼会の報告
- ・お土産のご紹介
- ・行事案内
- ・秋彼岸会
- ・十夜会
- ・写経会
- ・月例供養会

-
- ・行事の卒塔婆について

- ・秋彼岸会について

- ・十夜会について

- ・供養

【地域】

- ・なぜ寺カフェをやるのか

- ・いわぶち茶寮の活動

- ・内観衆の活動

- ・しゅりると共に

【保育】

- ・《和顔愛語の保育》って何？

- ・正光寺保育園のご紹介

・一緒に働いてくれる方募集！

・正光寺保育園 2025 年度 新たな挑戦

【コラム】

・怖い話（？）

・一日五分の読書時間

・暑いからこそ、サウナ

・職員 PICK UP 吉田麗斗先生

・後見活動ということ

・内観のひとしずく

【編集後記】

・編集メンバー・ボランティア募集

・メールアドレス登録御礼とお願い

・新しい寺報づくり

・各種振込先

・編集後記

・QRコード



寺報の趣旨

正光寺の寺報は、内観と念仏を通じて「い
まどうあるか、これからどうするか」を考
え、行動するための道標となるよう、必要な
情報を発信していくことを目的としています。

これらの情報が、皆さまの心を静め、穏や
かな毎日を過ごすための一助となれば幸いです。

正光寺の寺報は、お檀家さんはもちろん、
浄苑や永代（エータイ）墓地をご利用の方、保
育園を利用されている方、さらには一般の皆
さまにもご覧いただけます。

どなたが手に取ってくださっても、心穏や
かな毎日を送るための一助となるよう、これ

からも情報を発信してまいります。

【Oin】 おりん

お寺で読経する際に、音を鳴らして音程や
リズムを合わせる行為と、正光寺に関わる人
たちが気持ちを合わせる（揃える）という意味
を込め、おしゃれに英語表記にしてみました。

また、おりんが響かせる音色は邪気を払う
と聞いています。なので、今後正光寺に関わ
る人たちがより良く成長できるようにとの願
いを込めて考えました。命名者は正光寺保
育園の園長をしていた山下陵子先生です。

正光寺読物《内観念仏》

施餓鬼会では布教師による法話がありました。お寺としてあるべき姿の一つです。法話を専門的に行う僧侶を特に布教師何ぞと呼ぶ所以は、話し方や内容、所作に至るまで様々なしきたりがあるからです。そのしきたりを厳密に守ることができると認められた僧侶のみが布教師と呼ばれます。もちろん、広義において僧侶即布教師であることは、言うを待たずですけれども。

法話のしきたりのひとつに「法譬因縁合釈(ほっぴいんねんがっしゃく)」があります。これは起承転結と同じように話を分かりやすくするための構成を定めたものです。



最初に讃題(さんだい)というのがあって、經典論書の一部を引用して読み上げます。今回の讃題は法然上人のお言葉にある「始めには我が身のほどを信じ、後には仏の願を信ずるなり」というものでした。

讃題に使われる文句はどれもすばらしいものばかりですが、その中でも今回の法要でなぜこの讃題を選んだのか、布教師さんにお聞きしました。理由は簡単で正光寺に最も合っているからということでした。

布教師さんは今回の法話をするようになってから、正光寺のウェブサイトをご覧になったそうです。それによって正光寺が内観と念仏を大切にしている事を知ったのです。念仏をするために内観を取り入れている正光寺には、この讃題が最も合っていると考えたそうです。不完全な人間が不完全でありながらも内観を通じて毎日を穏やかに過ごせるように精進しながら念仏を称える。まさに讃題にある法然上人のお言葉がぴったりであるという事です。

正光寺にぴったりの讃題に基づく法話は参加した方々の共感を呼び、感動のあまりむせび泣き始める方が後を絶たちませんでした。その音は法話後の読経中も途絶えることなく、儀式の最後に皆で称える十念はとても情緒的にお堂の中に響きわたりました。

秋彼岸会、十夜会でも法話を予定しております。是非ともご参加くださいませ。

称号十念(住職)



施餓鬼会の報告

七月一七日、本堂前にはたくさんの方々が立ち並び、多くの檀信徒の皆さまが正光寺にお越しくださいました。炎暑の中、足を運んでいただき誠にありがとうございました。

当日は正光寺の職員一同が法被を身に着け、心を入れて皆さまをお迎えいたしました。ひとりひとりが「正光寺の縁者」としての誇りを持ち、あたたかな一体感が境内に広がっていました。

法話は、茨城県の常磐寺の副住職・船橋

了照師にお越しいただき、「自分さえ良ければよい」という思いが、仏教でいう“餓鬼の心”につながるのではないかと問いかけられました。

亡き方々を餓鬼の世界へと導かぬよう、まずは私たち自身が日々の心のありようを見つめ直し、自らの生き方を正していくことの大切さをあらためて感じるひとときと



なりました。

休憩時間に

は、檀家さまか

らいただいた静

岡のお茶を皆さ

まにお配りしま

した。「美味しいですね」との声も多く、和

やかな時間となりました。また、以前盆供

養の際に「いわぶち茶寮」で提供した梅ジ

ュースを覚えてくださっている方から、再

びご要望をいただく場面もあり、うれしい

驚きでした。



供養の後には、お墓参りへと向かう檀信

徒の皆さまと自然に会話が生まれ、「いわぶ

ち茶寮」にご興味を持ってくださる方が多

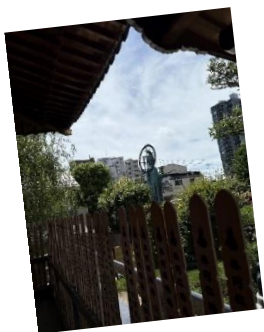
くいらしたことに、私たちもあらためて感

謝と励ましをいただきました。

これからも、皆さまにとって身近で温かい

お寺であるよう、精進してまいります。

(新井)



お土産のご紹介

このたびの施餓鬼会

にて、職員の地元・愛

知県の名産品である

「八丁味噌」の即席み

そ汁をお出ししました。八丁味噌は、豆味

噌の中でも特に赤だしとして親しまれ、濃

厚な旨みと深いコクが特徴です。

当日は、猛暑のなかご参拝くださった皆

様に、少しでも塩分補給をしていただけれ

ばとの思いから、お味噌汁を選ばせていた

大ました。結果として、たくさんの方々が



ら「美味しかった」「懐かしい味」とご好評をいただき、職員一同たいへん嬉しく感じております。

今回ご提供したのは、愛知・岡崎の老舗「まるや八丁味噌」さんの即席みそ汁（生タイプ）。お湯を注ぐだけで本格的な赤だしの味わいが楽しめる逸品です。ご家庭用としてもおすすめです。ぜひ一度お試しください。

▶ 商品紹介ページ

八丁味噌 即席みそ汁—まるやオンラインショップ

次回の秋彼岸でも、数量限定でお土産にお出しできればと考えております。季節ごとの行事に合わせた“ひと腕の心づかい”を、これからも大切にしていまいります。

(安達)

行事案内

申込方法・・

このたび、地球環境への配慮を旨とし、従来の紙によるお申し込みをGoogleフォームによるご回答形式へと改めさせていただきました。なお、入力の手順等につきましては別紙にてご案内申し上げております

ので、ご参照のうえ、お手続きを賜りますようお願い申し上げます。

秋彼岸のご案内

日時・・ 九月二三日(火)

法話・・ 午前一一時より

法要・・ 午後一二時より

※去年と開催時間が違いますので

ご注意ください。

場所・・ 正光寺 本堂

卒塔婆+参加(家族全員まで)

・・五、〇〇〇円/家

卒塔婆のみ
・・七、〇〇〇円/本

参加のみ

…二、〇〇〇円／人

申込方法…

Google フォームよりご回答をお願いいたします。

卒塔婆供養のみをご希望された方は、当日午後一時以降にお渡しできます。寺務棟のところに置いておきますので各自お取りになってお墓参りをしてください。

十夜会のご案内

日時…一〇月二六日(日)

法話…午前一一時より

法要…午後一二時より

※去年と開催時間が違いますので

ご注意ください。

場所…正光寺 本堂

卒塔婆十参加(家族全員まで)

…五、〇〇〇円／家

卒塔婆のみ …七、〇〇〇円／本

参加のみ …二、〇〇〇円／人

申込方法…

Google フォームよりご回答をお願いいたします。

卒塔婆供養のみをご希望された方は、当

日午後一時以降にお渡しできます。寺務棟のところに置いておきますので各自お取りになってお墓参りをしてください。

写経会のご案内

正光寺の写経会は書道教室ではありません。したがって、字をうまく書くこと自体を目的としていません。写経を通じて、日々の生活を穏やかで豊かなものにするために必要な「ものごとの本質」を再確認する内観を目的としており、さらに念仏を称えることで、最期に敬愛すべき先人たちと同じ極楽浄土へお迎えいただくことを目指

しています。

日 時…毎月第一日曜日

午後二時より

場 所…正光寺 本堂

参加費…一、〇〇〇円

申込方法…お電話、メール

でお申し込みください。

月例供養会のご案内

正光寺の月例供養会は、その名の通り、あらゆる供養を合同でお勤めするための定期的な儀式です。

正光寺は念仏道場として、「何をするにも



まずは念仏を称える」ことを大切にしています。そして、念仏を称えながら日々を心穏やかに過ごすために内観（内省）することを重視しています。

この月例供養会は、供養を希望される方だけでなく、念仏や内観（内省）に関心をお持ちの檀家様や一般の方も参加できる開かれた儀式です。幅広い目的や想いをお持ちの方が参加できるのです。

日 時…毎月第一日曜日 午前九時より
場 所…正光寺 本堂

申込方法…供養の対象がある場合のみ、お

電話、メールでお申し込みください。参加のみの場合は申し込み不要です。

（住職）



■ 行事予定 ■

秋彼岸

9月23日(火)

法話:午前11時より

法要:午後12時より

十夜会

10月26日(日)

法話:午前11時より

法要:午後12時より

写経会

月例供養会

毎月第1日曜日

行事の卒塔婆について

このたびの施餓鬼会より、行事で建立する卒塔婆につきましては、従来六尺と五尺の二種類をご用意しておりましたが、今後は五尺のみの一種類とします。

●行事（供養）に

参加した場合の卒塔婆料

…五、〇〇〇円／本

●行事（供養）に

参加せず卒塔婆のみの場合の卒塔婆料

…七、〇〇〇円／本

（卒塔婆＋供養料）

しかしながら、混乱して分からなくなってしまうことも有ろうかと思えます。各行事の案内に卒塔婆に関して詳細を記載するようにしますので都度ご確認ください。

卒塔婆のルーツは、お釈迦様のお骨を納めた「ストウーパ」にあります。ストウーパは当時、それを大切にする人々にとってお釈迦様そのものとして深く尊ばれていました。お釈迦様は偶像崇拜をよしとせず、「自らを抛り所とし、教えを抛り所として生きる」ことを勧められましたが、その一方でお釈迦様が入滅された後に生じた喪失

感を補うため、人々はお釈迦様を感じられる何かを求めました。そこで教えを象徴する法輪や仏足石を崇拜するようになり、ストーパーも同様に祈りの対象とされたのです。そして紀元前後、西北インドでついに仏像が建立されるに至りました。

このストーパーを起源とする卒塔婆は、私たちにも同様に大切な人そのものを象徴するものです。卒塔婆を建立することは、簡易的に内観の環境を整える一つの手段であり、亡き方々への思いとともに自らの心を見つめ、静かな時間を過ごしながら念仏

を称えるためのよい機会となります。

日々を心静かに、そして大切な方への思いを大事にしながら過ごすために、積極的に卒塔婆供養をいたしましょう。

正光寺の秋彼岸会

(再掲・住職)

私たちが目にすることができる仏教の儀式儀礼や作法の多くは、その起源をお釈迦さまの時代まで遡ることができません。だからといって価値がないということとは全くありません。なぜならば、後発的にできた儀式儀礼や作法は、仏教を大切にしようと

思うからこそ作られたものばかりだからです。在るわけでも無いわけでもなく、言語表現さえも不可能な真理に到達する何ぞといったことを我々凡夫ができる訳ありません。それでも何とか真理に近づこうという取り組みが、日ごろ私たちが行っている仏教の儀式儀礼、作法なのです。

彼岸会もまたそのひとつです。大同元年（八〇六）、崇道天皇のために国分寺の僧侶が春秋の七日間に『金剛般若経』を読んだという記述が『日本後記』にあるのが初出です。その後、日本古来の太陽崇拜や先祖

崇拜など、様々な宗教習俗が混ざり合っていました。

平安以降、阿弥陀仏信仰の広がりによって、西方極楽浄土を観じて念仏を称えて先祖を供養する現在の彼岸会の土台が完成したと考えられます。

正光寺の彼岸会では、静かに極楽浄土やご先祖様に想いを馳せるために内観をして念仏を称えます。お盆や施餓鬼から二ヶ月が過ぎた秋の彼岸に日々の喧騒から抜け出して、忘れかけていた大切なことを再確認し、おろそかになりがちな念仏を称え、先

祖(大切な存在)への感謝と明日からの決意
を新たにいたします。それが正光寺の秋彼
岸会です。(住職)

法話について

前回の施餓鬼会に引き続き、布教師によ
る法話の時間を設けることにしました。法
話の開始時間は一一時から、儀式は一二時
からとなっています。どうぞお間違えにな
りませんようにおいでください。

秋彼岸会

小石川善光寺 宮田恒順 師

十夜会

福島 興仁寺 名木橋大光 師

水子供養

(住職)

正光寺の水子供養は、内観と念仏を目的
としています。水子供養をしなければなら
ない状況に際して心静かに内観し「大切に
すべきこと」「物事の本質」といったことを
再確認します。内観したことを抛り所とし
て、これからの人生を前向きに生きていく
ことを目指すのが正光寺の水子供養です。
一生懸命に生き抜いた暁には水子さんを含

めた敬愛する多くの人たちが待つ極楽浄土へお迎えいただけるように念仏を称えま
す。

水子供養の際には、嘘偽りのない心情の吐露をされる方が後を絶ちません。お寺が、ひいては仏さまが唯一、それを受け止めてくれることを本能的に感覚的に理解されるからでしょう。

そのような心情の吐露、内観、そして念仏は、心の安定、思考の安定をもたらししてくれます。

しかし、残念なことに世の中は思い通り

にいくものではなく、その中に生きる我々人間は不完全です。その上、毎日忙しいとくる。せっかく内観と念仏をして心の安定、思考の安定を図ってもしばらくするとまた心が揺らぎ始めてしまう。

そんな時はまたお参りに来ればいい。

風邪を引けば病院に行く。髪が伸びれば美容院に行く。腹がすけば飯を食う。

心の安定、思考の安定が図れなくなったら寺に来て内観と念仏をすればよいのです。

いつでもご連絡ください。正光寺は、あ

なたの未来に寄り添うお寺です。（住職）

人形供養

昔から人形には魂が宿ると言われています。本当に宿るかどうか、私には分かりません。しかし、もし人形に魂が宿るのであれば、それは「人形の」魂ではなく、それを大切にしている人の心(記憶)が宿るのだと思います。

人形には楽しい時も辛い時も人形と関わった子供の頃の心が宿っているのです。大人になって実家に置かれたままになっていった人形は、その人に当時のたくさんの思い出や感情を思い起こさせてくれます。人形を抛り所のひとつとして大人になった今、人形は役目を終えて供養されていきます。

人形供養は、「人形」を供養しているのではなくありません。人形に宿った自分自身の心を供養しているのです。人形供養を通じて過去の自分と向き合って内観し、これからの人生の質を高めていきます。人生の質を高めるとは、穏やかな毎日を過ごすということです。その決意表明として、念仏を称える。

これが正光寺の人形供養です。

供養の場に立ち会うのが叶わない事情も多々あるかと思いますが、人形供養にはできる限り同席されることをお勧めいたします。(住職)

開門・閉門時間のお知らせ

正光寺

開門 8:00

閉門 16:00

赤羽浄苑

開門 8:00

閉門 17:00

ご参拝の際は、上記時間内にお越してください。

なぜ寺カフェをやるのか

いわぶち茶寮は、実践仏教（内観と念仏）を通して食育と日本文化を大切にすることを目的としたカフェです。

「食」は育てる事にはじまり、収穫して調理し、皆で食べる事につきます。しかし、多くの人は収穫を体験しません。調理を体験しない人もいます。ただ出てきたものを食べるだけ。下手をすれば一人で食べる。すべてが悪いとは言いません。ただ、折に触れて原点に立ち返り、食を育てる事、収穫すること、調理すること、皆で食

べる事を実践する必要があります。なぜならば、日々の忙しさや環境によって、心の底から感謝をするという事を忘れてしまいがちになるからです。

食べ物育てる事の大変さ、収穫した時の喜び、調理次第で美味しくなることの驚き、皆で食べる事の楽しさ。そういった心の躍動が私たちには必要なのです。日本人は古くから素晴らしい自然の中で、そういった心を大切にしてきたのです。

① 感謝の気持ちを称名念仏によって表明するのが正光寺の寺カフェです。

② 「食」頂くことで活かされている自分自身を内観するのが正光寺の寺カフェです。

③ 「食」を取りまく日本文化を観じて、先人たちに敬意を払い、後世に伝えていくのが正光寺の寺カフェです。

活動グループ名を「御膳衆（ごぜんしゅう）」としています。これは日本古来の言葉を大切にし、異文化の人たちにも理解してもらったための手段の一つとする意図があります。（住職）

いわぶち茶寮の活動

寺カフェ「いわぶち茶寮」オープン！

七月五日より、正光寺境内にて**土日限定の寺カフェ「いわぶち茶寮」**がオープン！

ぶち茶寮」**がオープンいたしました。

正光寺カレーや人参

ケーキ、茶屋セツ

ト、トマトスムージ

ー、お抹茶など、か

らだど心が整うメニューをご用意しております。営業は毎週土・日、九時半～十六時



金額は、

正光寺カレー

八〇〇円

人参ケーキ

六〇〇円

トマトスムージー

五〇〇円

お抹茶

五〇〇円

茶屋セット

八〇〇円

正光寺カレーと人参ケーキはお飲み物セツトにさせていただくと一〇〇〇円でアイスコーヒーなどお選びいただけます。

ご家族やご友人とご一緒に、ぜひお立ち寄りください。季節のうつろいを感じながら、静かなひとときをお楽しみいただけます。

す。

今季の一品　くからだを労わる夏の味く

今夏のおすすめは、「いわぶち茶寮」で提供している正光寺カレーとトマトスムージーです。

正光寺カレーは素材のちからが光る精進風カレー！
いわぶち茶寮のカレーは、
人参・玉ねぎ・じゃがいも
のみを使用した、からだに
やさしい一皿です。

人参は、免疫を助け、肌や目を健やかに保



ちます。玉ねぎは、血液を整え、疲れを和らげてくれます。じゃがいもは、お腹を満たしながら、体に元気を届けてくれます。どれも自然の恵みを生かした野菜ばかり。素材の持つ栄養とやさしい味を、どうぞお楽しみください。

トマトスムージーはからだにやさしいトマトスムージー！

いわぶち茶寮のスムージーは、トマト・バナナ・はちみつだけでつくった自然派ドリンクです。

トマトは、血圧や肌の調子を整えるリコピ

ンがたっぷり。

バナナは、エネルギーの源になり、心と体をやさしくサポート。

はちみつは、自然の甘さで、疲れた体にほっと一息をくれます。

甘さひかえめ、あと味さっぱり。体にすつと染みわたる一杯を、ぜひお試しください。

どれも自然の恵みを生かした野菜ばかり。素材の持つ栄養とやさしい味を、どうぞお楽しみください。

からだにやさし
く、お子さまか
らご年配の方ま
で安心して召し
上がれます。



さらにトマトスムージーは、夏バテ防止に
もなる栄養たっぷりの一杯です。

日々の中に、ほんの少しの“おいしい静け
さ”をどうぞ。

梅しごとく梅企画のご報告く

六月、正光寺では地域の皆さまと一緒に**

「梅収穫際」**を開催いたしました。

境内の梅をみんなで収
穫。ご参加いただいた
皆さまの笑顔に、私た
ちも多くの気づきをい



たきました。季節の恵みに感謝し、また
来年も続けていければと願っております。

その収穫した梅は、梅シロップと梅干しに
いたしました。

七月十三日に、梅シロップを冷たいお水で
割った梅ジュースとしてご来山の皆さまへ
おふるまいさせていただきました。法要や
お墓参りにお越しくださった方々に、大変

ご好評をいただき、笑顔あふれるひとときとなりました。

自然の恵みに感謝し、手をかけて育んだ味を分かち合う——そんな優しい時間を、これからも大切にしていきたいと思います。

また、収穫した梅で漬

けた梅干しは、現在

「いわぶち茶寮」の茶屋セットにてお出ししております。手づくりの素朴な味わいは、お食事のアクセントとし



てもご好評をいただいております。梅の香りとともに、季節のうつろいを感じながら、心やすらぐひとときをお過ごしいただければ幸いです。（桑原）

内観衆の活動

月例活動「しゅりる」で掃除活動

正光寺では、地域の皆さまと共に、心とからだを整える月例活動「しゅりる」を開催しております。毎月第㍶水曜日、午前10時より行っており、どなたでもご参加いただける場となっております。

お寺の掃除は、ほうきを手に境内を清めな

がら、身のまわりを整えることの大切さや、日常に潜む感謝の気持ちに気づかされるひとときとなっています。

お掃除の後には、簡単な体操やちょっとした活動も行っており、参加された皆さま同士との交流の場としても親しまれております。

どこか懐かしく、心温まる「しゅりる」の時間。ぜひ一緒に手を動かし、静かなひとときを過ごしてみませんか。

今期の見どころ ～ひまわり～

この夏、正光寺の境内にはひまわりが元気

に咲いています。

種まきは、月例活動「しゅりる」や地域の活動に積極的に参加してくださっている方と共に行いました。手をかけ、土にふれ、芽吹きを見守りながら育ててきたひまわりは、今、堂々とその花を咲かせています。

お寺にお越しになる方々を、明るい笑顔のように出迎えてくれる姿は、どこか心を和ませてくれるものです。

これから、こうした自然の営みと共にあるお寺づくりを大切にしてまいります。

(桑原)

しゅりると共に

月に一度の心と体のリフレッシュ「しゅりる」のご案内

正光寺では、地域の皆さまとのふれあいと交流を目的に、**「しゅりる」**という活動を行っております。

毎月第㍲水曜日の午前10時より、境内にて

- ・お掃除
- ・体操
- ・ちよつとした月替わりの活動

という流れで、心と体を軽くするひととき

を皆さまと一緒にしています。

ご近所の方々はもちろん、赤羽岩淵園の子どもたちも元気に参加してくれており、毎回にぎやかで温かな時間となっております。

私自身も毎回参加しておりますが、赤羽岩淵園のみなさんや、地域の方々とふれあう中で、新しい気づきや学びを得ております。地域の皆さまが温かく赤羽岩淵園の子どもたちの成長を見守ってくださいという様子は、正光寺ならではの光景であり、あ

たたかなつながりを
感じる貴重な場とな
っております。

しゅりるは、どなた

でもご参加いただけます。

どうぞお気軽にお越しくださいませ。

(桑原)

正光寺実践仏教道場 第二弾 念仏瑜伽

念仏カフェである『いわぶち茶寮』に続
き、正光寺実践仏教道場の一環として九月
から念仏ヨガ教室を開講することにしまし
た。ヨガを通じて念仏を称え内観し、穏や



かな毎日を過ごすことを目的とするもので
す。

念仏ヨガ教室は、正光寺が最も大切にし
ている内観念仏をするために最も効果的な
手段の一つであると考えます。

日時…毎週土曜日 朝七時三〇分～一時間

布施…一講座三、〇〇〇円

講師…中川真実 先生

※初回、初月は様々な特典がつきます。詳
細はウェブサイトやお寺の掲示板をご覧ください。
(住職)

《和顔愛語の保育》って何？

「《和顔愛語の保育》って何ですか？」という質問をよく受けます。その答えはとても簡単です。

はじめに、保育とは何かを明らかにします。

次に、回答の文頭に「和顔愛語をもって」と前置きをします。

以上で完成です。それが「和顔愛語の保育」なのです。

では、保育とは何か。それは、子どもの最善の利益を考慮し、保護者と協力して、

子どもの心身の健やかな発達を支援する営みであります。それを和顔愛語で行うのです。

和顔愛語とは、柔和な表情と優しい言葉遣いをもって相手の事を慮ることです。

つまり、《和顔愛語の保育》とは、笑顔を大切にして子どもたちを中心に活動することです。

「たかがそんなこと？ たったそれだけのことを仰々しく《和顔愛語の保育》という

ことに意味を感じません」

果たしてそうでしょうか。私はこの「和顔愛語」をもって保育を行うことが一見容易そうでありながら実はとてつもなく難しいと考えています。もし、「和顔愛語」で諸事に臨むことができたなら、人間関係で悩むような人はいない筈です。世の中で見かける子どもに手を上げてしまうような事件は起きないはずですよ。愚痴や不満、不安でいっぱいになるようなことはないはずですよ。

私も保育者も保護者も社会も、この和顔愛語をもって諸事に当たることができれば、一切の問題は起きない筈なのです。

しかし、現実はそのなにより簡単ではありません。ですから《和顔愛語の保育》がとても重要であるのです。むしろ、超高度なことを求めているのです。

この超高度なことを実践しているのが正光寺保育園です。本当かどうか、現地で実際に見て感じてください。職員は皆、笑顔

を大切にして活動しています。子どもたちは、怒ったり泣いたりといったあらゆる感情を大切にしながらも最後は命一杯の笑顔で帰ってきます。

各園で紹介され実践されているあらゆる具体的な保育活動は、この《和顔愛語の保育》、笑顔を大切にして子どもたちを中心に活動することを前提に行われているのです。

《和顔愛語の保育》では、主体性、心な

ど、様々なキーワードが頻繁に出てきます。詳細は各園の紹介欄に譲りますが、これらは正光寺保育園の具体的な活動を知る上でとても重要な言葉です。

正光寺保育園では、「言うは易く行うは難し」である《和顔愛語の保育》を実践し続けているのです。それが正光寺保育園の保育なのです。（住職）

正光寺保育園のご紹介

正光寺では、“心の保育”を大切に、保育

園を運営しております。

現在、小規模保育園を六園運営しており、下記の通りです。

東京都…板橋駅前園・上石神井園

埼玉県…浦和園・北浦和園・南浦和園

神奈川県…吉田町園

さらに、小規模保育園以外にも以下の二園がございます。

認可保育園…埼玉県の鳩ヶ谷園

企業主導型保育園…東京都の赤羽岩淵園

以上、全八園を展開しております。

私たち正光寺保育園では、

保育方針として

「和顔愛語の保育」〈柔和な表情と優しい

言葉づかい〉

保育目標として

「自ら考え行動する力を育む」〈自分で

きた！を大切に〉

を掲げ、子どもたち一人ひとりの心に寄り

添う“心の保育”を実践しています。

各園では随時園見学を受け付け中です。

入園をご検討中の方はもちろん、入職をお

考えの方、ボランティアや実習生のご希望

も大歓迎です。どうぞお気軽にお問い合わせ

してください。

また、正光寺保育園では、地域の皆さまにもご参加いただける行事やイベントも開催しております。お近くの園や気になる園がございましたら、ぜひ足をお運びいただけましたら幸いです。

皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

続きまして、各園の紹介・行事の様子・今後のイベントの日程などをご案内いたします！

気になるイベントや園などご

ざいましたら、お気軽に園へ

お問合せください♪

(川崎)

【板橋駅前園】

正光寺保育園 板橋駅前園では、子どもたちの自己肯定感や非認知能力など目には見えない心の力を育むために日々保育を行っています。そのため、子どもたちは自分の興味関心を持ったことにとことん熱中したり、集中して遊びこんだりする姿が多く見られます。我々保育者はそのような子ども



たちの姿を目指し日々変化する子どもの興味関心を捉え、活動内容や環境設定にどう反映させていくか職員同士での話し合いを毎日行っています。

また、今年度の取り組みとして、職員の学び合いに力を入れています。保育者それぞれが学びたいこ

とを外部研修や教本などで学べる機会を作り、

その学びを職員

全員で共有し合うことで園全体の専門性を



向上させていく取り組みを行っています。歩みを止めず常に進化し続ける保育園を目指し運営しています。

今年度の地域活動では、前半では離乳食試食会やベビーマッサージ、毎月開催のお誕生日会や身体測定など多くの地域の方にご参加いただきました。

離乳食試食会では実際に当園で子どもたちに提供している離乳食初期食・中期食・後期食を提供量そのまま実際に見て食べていただき、どの時期にどのくらいの量を提供するのか、硬さ大きさはどのくらいなの

か、味付けはどの程度付けるのかなど体感していただくことができます。

北区の講座でも離乳食の講座があるようですが、実際に食べることはできないように、ご参加いただいた方からは食べて体験できたのはとても良

かったという声を多くいただいています。ベビーマッサージでは、講師の先生をお呼びして実際にオイルも使いベビ―



マッサージを体験していただきます。内容も難しいものではなく日々続けていけるような簡単で短いものになっており、日々のお子様との触れ合いの中で子どもの体の機能向上やリラックスなどに効果的なものをご紹介します。

また、こちらの講師の先生が助産師の資格もお持ちのため産後のお母さま方の体の悩みや子育ての悩みなどベビーマッサージ後のお悩み相談の時間も盛り上がりを見せています。

これからも地域の子育て家庭の小さな応援

団としてお役に立てると嬉しいですよ！

【地域の方にお越し頂けるイベント日程】

身体測定&保育園で遊ぶ

身体測定では、ご家庭にはないような身長を計るスケールや横になって体重を測れる体重計もご用意しているため、小さな赤ちゃんでも図ることができます。

- ① 九月十一日(木) ② 十月九日(木)
- ③ 十一月十三日(木) ④ 十二月十一(木)
- ⑤ 一月十五日(木) ⑥ 二月十二日(木)

誕生日会&保育園で遊ぶ

誕生日会は、その月に誕生日を迎えるお子

様には、誕生日カードをプレゼントさせていただきます、その月に誕生日ではない方も会に参加いただきお楽しみいただけます。

- ① 九月十八日(木) ② 十月十六日(木)
- ③ 十一月二十日(木) ④ 十二月十八日(木)
- ⑤ 一月二十二日(木) ⑥ 二月十九日(木)

【その他イベント日程】

- ・ 九月十七日(水) 離乳食試食会
- ・ 十一月二十六日(水) ベビーマッサージ
- ・ 十二月十日(水) 離乳食試食会
- ・ 十二月二十四日(水) クリスマス会

詳しくは正光寺保育園 板橋駅前園までお問

い合わせください。（板橋駅前園 園長 泉）

東京都北区滝野川七-二十四 滝野川 G1ビル 2F

「板橋駅より徒歩五分 都営三田線新板橋より徒歩十分

TEL 03-6903-7262

FAX 03-6903-7263

MAIL itabashiekimae@sk-j.or.jp



【上石神井園】

正光寺保育園上石神井園は、保育理念である和顔愛語のもと、保育士が子どもたち一人ひとりに寄り添い、成長を見守りながら、日々、保護者の方々としっかり連携を取ることを大切にしています。子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努め、毎日の保育を通じて、心身ともに健やかな成長をサポートしています。

園は閑静な住宅街の中にありますが、周辺には川や広場、公園など自然を感じられる場所も多くあります。お散歩中には、川に

いる鴨やサギを見つかったり、季節の花や樹の実を見つかったりすることができ、子どもたちは日々の発見を楽しんでいます。外遊びや自然とのふれあいを大切にし、体を動かす機会もたくさん提供しています。

また、当園では英語活動やリズム遊びにも力を入れており、週に二回の英語活動や、月二回の英語リトミックを行っています。英語と音楽を通じて、子どもたちの感性やコミュニケーション能力を育んでいます。

おもちゃや絵本は、子どもたちの関心や発育段階、季節に合わせ、遊びを通して学びの連

続性を大切にしています。興味を引き出し、楽しく成長できる環境を整えています。私たちは、子どもたちと一緒に過ごす時間を大切に、一人ひとりの個性を大



切にしています。子どもたちのかけがえのない瞬間を見届けられることに感謝をし、今後も子どもたちと保護者の方に寄り添った保育を目指していきます。

【園での花まつりの様子】

五月一六日、正光寺保育園上石神井園にて「花まつり」が行われました。保護者の方や地域の方も参加され、初夏の気持ちのよい日差しの中、穏やかな雰囲気になまれ、花まつりを開催することができました。花まつりはお釈迦様の誕生を祝う仏教行事で、上石神井園でも毎年この時期に行われ

ています。

一歳児、二歳児クラスの子どもたちで花束を製作したり、お釈迦様にお供えするお花を買いにいたり花まつりに向けて期待を膨らませていました。

当日は、子どもたちが職員と一緒に「花まつりのうた」を元気に歌い、和やかな空気に包まれました。パネルシアターではお釈迦様の誕生についてお話を聞



き、高橋代表からは子どもたちの健やかな成長を祈る言葉をいただきました。二歳児クラスの代表の園児が献花を行い、見ている子どもたちは温かい拍手を送り、一体感を持って花まつりが進んでいきました。そして、保護者の方や職員が寄り添いながら一人ひとりが誕生仏に甘茶かけを行い、高橋代表からお土産をもらうと会場内には笑顔が溢れました。みんなで甘茶をいただき、慣れない味に戸惑いつつも笑顔を見せてくれる子どもたちと最後まで楽しく、貴重な時間を過ごすことができました。

園見学や園実習の受け入れなど積極的に
行っております！

詳しくは正光寺保育

園 上石神井園までお

問い合わせください。（上石神井園 園長 廣

瀬）

東京都練馬区上石神井 三三三十四ー十二

西武新宿線 上石神井駅 徒歩七分

TEL 03-6904-8031

FAX 03-6904-8032

MAIL kamisyakujii@sk-j.or.jp



【浦和園】

正光寺保育園 浦和園では、子どもたちが心豊かに自分らしく成長でき、安心して過ごせるよう環境づくりに努めています。職員も子どもたちと一緒にたくさんの体験を楽しみながら日々活動しております。

【園の様子 心育む絵の具あそび】

先日、正光寺保育園浦和園では、全身（五感）を思い切り使った絵の具あそびの活動を楽しみました。

真っ白に変身した保

育室に子どもたちの期

待値は急上昇！！

保育室に用意された色

とりどりの絵の具と画

材道具を見て「たくさ

ん色があるね。」「これはどうやって使うの

かな？」と子ども同士の会話も弾みます。

スポンジを使って線路を描く想像力や、真

剣な表情で色々な絵の具を混ぜ新しい色を

作ってみたり、指先や足で感触を楽しんだ

りする姿がありました。



いつもとは違う雰囲気の保育室を不思議そ

うに見つめる子ども

や、ちよっぴり不安

そうな子どもには保

育者が寄り添い安心

できる環境の中、思

い思いに活動を楽し

むことができまし

た。今後も豊かな心

を育む様々な体験をみんなで楽しみたいと

思います。

園見学や保育ボランティアの受け入れなど



積極的に行っております！

詳しくは正光寺保育園 浦和園までお問い合わせ

わけください。（浦和園 園長 倉持）

埼玉県さいたま市浦和区東仲町十一・十三

〒京浜東北線浦和駅 徒歩三分

TEL 048—762—3823

FAX 048—762—3824

MAIL urawa@sk-j.or.jp



【北浦和園】

正光寺保育園 北浦和園です。今年度が始ま

り、五カ月が経ちました。現在、十五名の

子ども達と毎日温かい時間を過ごしており

ます。北浦和園の職員は、子ども達への眼差しが温かいだけでなく、職員間でも相手の思いを考えながらコミュニケーションを取る職員ばかりです。引き続き、和顔愛語の保育を通して応答的なかわりや様々な活動を通して子ども達の心が豊かさを育めるように尽力していきます。

【園の様子】

・七月十一日(金)に
入園希望者向けに
園見学・ヨーヨー
すくいが行われま



した。二組の親子が参加をしてくださいました。一組は、卒園児の兄弟の方が遊びにきてくれ、元担任との交流も楽しんで頂きました。

・八月より、絵本の読み聞かせボランティアの「さいたま市よい本を読む運動推進員会」の方が来園をし、園見学と子ども達のためにパネルシアターをしてくださいました。月に一回来園し読み聞かせをしてくださいます。絵本の読み聞かせを通して、地域の方の温かさに触れられる機会になればと思っております。

引き続き、応答的なかわりや様々な活動を通して子ども達の豊かさや育めるような心の育ちを支えていきたいと思えます。



【九月以降の体験保育のご案内】

- ① 九月十日(水) ② 十月十四日(火)
- ③ 十一月十日(月) ④ 十二月十日(水)
- ⑤ 一月二十日(火) ⑥ 二月十日(火)
- ⑦ 三月十日(火)

「北浦和園ってどんなところ？」園見学だけでは分からない保育内容や保育士の雰囲気を感じていただける時間となりますので、北浦和園の温かい雰囲気や保育を感じて頂けると幸いです。

体験保育では、親子と一緒に、北浦和園の先生・お友だちと一緒に北浦和公園へ行ったり、室内で触れ合い遊びをしたりと予定しております。北浦和駅周辺にお住まいの方、入園をお考えの方、お気軽にご参加ください。インスタグラムにて詳細を配信しておりますので、ぜひご覧ください。

詳しくは正光寺保育園 北浦和園までお問い合わせください。（北浦和園 園長 猪倉）

埼玉県さいたま市浦和区常磐十二・四

「京浜東北線 北浦和駅 徒歩八分」

TEL 048-711-8392

FAX 048-711-8492

MAIL kitaaurawa@sk-j.or.jp



【南浦和園】

こんにちは。正光寺保育園 南浦和園です。
武蔵野線南浦和駅から少し離れた所にある
小規模保育園です。一ツ木通り沿いに面し
ている為、玄関からはいろいろな車を通る

のが見え、子ども達の大好きな働く車を通
るといつも大盛り上がりです！

園の玄関を入ると沢山の興味のある玩具や
手作り玩具、段ボールの棚や家が並べられ
ています。子ども達が自分で好きな玩具を
選び遊べる環境があり、子どもの興味や意
欲をかき立てています。園見学はいつでも
OKですのでご連絡お待ちしております。

【園の様子】

七月に「水に浮く野菜・沈む野菜の違いを
楽しむ」という食育活動がありました。
オクラ・ピーマン・トマト・キュウリ・ジ

ヤガイモ・玉ねぎの六種類の野菜を順番に水槽に浮かばせる実験をしました。どうなるのかジッと見つめる子ども達。保育士の問いかけにも「う

く!」「うかな

い!」と積極的
に発言していま

した。さあどう

なったかという



「土の中の野菜は沈んで、土の上になる野

菜は浮く」との話に保育士達も感心しきり

でした! 後日に他の野菜もやってみよう

という話になり、また子ども達と一緒に実験したいと思っています。

食育活動の後はその野菜を使ってスタンプ遊びをしたり、凍らせた絵の具で絵を描いたりして楽しみました。子ども達は目をキラキラさせて絵の具だらけになりました。イナミックに遊び楽しんでいました。

また、南浦和園は「地域活動」に力を入れています。今年度の地域活動の様子を少しご紹介いたします。

六月末に「七夕製作体験」の行事があり、保育園の二歳児の子ども達と一緒に七夕製

作を行いました。二組の地域の方が参加し
お子さんの手形足形のスタンピングをして
織姫・彦星の着物を作ったり、短冊に願
い事を書いたり、吹き流しに丸シールを貼
ったり、スイカや星の塗り絵をしたりしま
した。

最後に笹に飾り、できあがり！その出来栄
えの素晴らしいさに皆さん大満足！笑顔が溢
れていました。二歳児の子ども達という
と…BGMで流れている♪たなばたさま♪
の歌を口ずさみながら楽しそうに製作して
いた子ども達です♡

七月末には「お盆祭
り」があり、三組の
地域の方が遊びにき
てくれました。



九月三十日(火)十時に「ママさんコンサ
ート」を開催します。

卒園した園児のお母様が中心になり、ピア
ノ・フルートなどの楽器を使って子ども達
の大好きな曲を歌ったり、踊ったりして楽
しみます。今年の二月に開催した際は子
ども達も大きな声で歌い踊って大盛り上

り、とても楽しいコンサートになりました。
九月は地域の方もお誘いしますの
で是非ご参加ください！！

南浦和園は子ども達も保育士も笑顔いっ
ぱいの保育園です。

これからも楽しい企画が沢山ありますの
で、是非遊びに来てくださいね。

詳しくは正光寺保育園 南浦和園までお問
合わせください。(南浦和園 園長 小山)

埼玉県さいたま市南区文蔵三二二十九十二
〆武蔵野線 南浦和駅 徒歩十五分

TEL 048-829-7891

FAX 048-829-7892

MAIL minamirawa@sk-j.or.jp

【吉田町】

吉田町園は、正光寺の中でも唯一神奈川県
横浜市にある定員十九名の小規模保育園で
す。横浜市に位置しながら園周辺は、緑豊
かで走り回れる大きな広場や土手、ヤギな
どにも触れることができ、子ども達のはのび
のびと生活をしています。園には、〇二
歳児のお子様が在園しており、そのほとん
どのお子さんが保育園という集団に入って
いくことが初めてです。そんなお子さんに





対して園では、一つ一つの出逢いを大事に
その個の世界を大切にしながら家庭的であ
たたかな保育を心掛けています。

みんなで何かを一齐に行ったり、保育者が
指示した通りに動くことが良いこと、良い
子ではなく、子ども自身で遊びを考えたり
試したりする中で夢中になれるものに出会
い、自らがどう育とうとしているかを信じ
保育をしています。

私たちには、立派な園舎がある訳でもな
く、迫力があり見栄えのする行事やイベン
トができる規模でもありません。しかし、

日々の生活を大切にしながら、そこに保育
の価値があると思っています。

正光寺保育園 吉田町園では、定期的に園内
開放を行っています。

園内開放では、園へ入園を希望する方はも
ちろん、地域に暮らす親子向けに遊びの場
を設けたり、ニーズに合わせた講座を行っ
たりしています。子どもたちが遊んでいる
間、育児相談に乗ったり、保護者同士が交
流を持つ機会を設けたりすることで子ども
たちが安心して遊べる場所の確保、悩みや
困り事を気軽に共有できることに繋がって

います。

【園の様子】

六月に行われた遊ぼうの会は、“風”がテーマ。うちわや扇風機を使い色々なもので風を楽しみながら皆でビンールドーム作りに成功！子どもだけでなく大人も夢中になって遊び、保育室には絶えず笑い声が響き渡っていました。



七月は専門の方をお招きして、排泄講座や早寝講座。明日から取り入れられるヒント

をたくさんもらい、入園を検討している方や講座の内容に興味がある方、地域の方にも多くご参加くださいました。

今後も園が地域に根付き、開かれた場所となるそんな存在であり、子育てをされる方同士のコミュニティへと成長していければと願っています。

地域の方にお越し頂けるイベント日程

九月六日(土)にリトミックと園内開放を予



定しております！ご興味ある方はぜひお越しください。

詳しくは正光寺保育園 吉田町園までお問い合わせください。（吉田町園 園長 杉本）

神奈川県横浜市戸塚区吉田町百三十八・六

JR 東海道線 戸塚駅 徒歩七分

TEL 045-383-9120

FAX 045-383-9121

MAIL yoshidacho@sk-j.or.jp



【赤羽岩淵園】

正光寺保育園 赤羽岩淵園です。

私達、赤羽岩淵園は正光寺の目の前という

有難い環境で保育をしており、年間を通して正光寺の境内で遊ばせて頂く事で季節を感じる事ができます。

春は桜の花が満開になった境内。草花達も芽吹き始め、鳥のさえずりや虫たちと共に春らしいお散歩を楽しんでいます。

四月八日のお釈迦様のお誕生日をお祝いする「はなまつり」は正光寺の本堂で実施させて頂き、子ども達も一緒に手を合わせてのお祈り、代表からの温かいお話の拝聴、最後には甘茶まで頂き、この環境に感謝で過ごす毎日です。



そして夏には境内の木が力強く色付き、自然のエネルギーにより、私達もパワーを頂きながら毎日を楽しく過ごしています。

水遊びやプールも広い境内で実施させて頂き、木々の成長や生命力に満ち溢れる自然の力と共に、子ども達もグングン成長していきます。

若葉の新緑は見る人の心を癒し、安らぎや活力を与えてくれますので、正光寺保育園の子ども達の心の成長も大きくなるのです。

そして秋には紅葉の便りが正光寺からいち

早く届きます。

落ち葉を拾っての製作や境内でのピクニックなどで自然への興味関心を育めるこの環境は子ども達を笑顔にしてくれ、ここで過ごせる毎日に感謝でいっぱいです。

冬になると枝だけが残る冬木立が見られ、凜とした空気に包まれる正光寺。寒い冬を我慢強く越す境内の木々を見る事で、子ども達の中にも我慢強さや根気強さが育れます。



このように一年を通して様々な経験が
できる正光寺を目の前に、日々岩淵大観音様
に見守って頂きながら成長している赤羽岩淵
園です。

【四月からの活動】

四月：入園進級お祝い会・はなまつり・いわぶち茶寮のお手伝い（野菜植え）

五月：こどもの日集会

六月：いわぶち茶寮のお手伝い（梅収穫祭）

七月：プール開き・七夕会・お盆祭り・ス



八月：水遊び・プール

九月：敬老の日集会・お芋掘り(幼児)

☆九月以降、地域の方にもご参加頂ける園内活動を開催いたします。

●パネルシアター

●保育園のお友だちと遊ぼうの日

●「ありがとう」をお送りしよう(敬老の日に向けて)

※日時は決定したらお知らせいたします。

☆赤羽岩淵園は企業主導型保育園の為、ご入園のご希望は園にご連絡を頂いております。

園見学もいつでも大歓迎ですので、園まで

直接ご連絡をお待ちしております。

詳しくは正光寺保育園 赤羽岩淵園までお問い合わせください。(赤羽岩淵園 園長 春川)

川)

東京都北区岩淵町三十七-四

東京メトロ南北線 赤羽岩淵駅 徒歩一分

TEL 03-6930-9952

FAX 03-6903-9953

MAIL akabaneiwabuchi@sk-j.or.jp



【鳩ヶ谷園】

正光寺保育園 鳩ヶ谷園は、愛を中心に笑顔で繋がり合う保育園作りを目指しています。子どもと家族だけではなく、人との繋がりを大切にして、経済の物差しではなく心の幸せを大切にして、幸せに暮らせる地域づくりを目指しています。

子どもたちが元気いっぱいに楽しむ姿は、ずっと見ていて飽きないものです。子どもたちの気づきが、言葉や行動に出た瞬間を見た時、感動のあまり保育士は他の保育士と共感をしたくてたまりません。毎日

の子どもの姿を見ている保育士だから、今日の子どもたちの心の動きと行動と言葉を見守り、育ちを喜び、子どもの存在に愛しさをいだいています。

【園の様子】

六月二十八日に父の会剪定 「父の会で育む親心」

先日は暑い日差しの中、父の会で保育園の剪定作業をおこないました。

休日の午前によく



りと過ごしたかったと思われるお父さんたちですが、十名以上

の父親が自主的に集まってくれました。

なぜ、お父さんたちは集まるのか。それは

は、お父さんの子どもへの願いだと思いました。



幸せを願う子どもたちの最高の居場所をつくってあげたいという親心は、お父さんの最上級でかっこいい姿でした。お父さんたちの笑い声が響き渡る園庭で、子どもや家

族を愛する気持ちがお父さんを動かしていると感じることができた日でした。

そして、一緒に手伝いに来た子どもたちも、お父さんの姿を見て、良く手伝うだけではなく大人とのやりとりもしっかりと出来る子どもたちでした。

このような環境が大人も育ち、子どもも育ち他人という感覚が少し変わって帰宅する時には、大人も子どもも一つの部族のような感覚になる不思議



な空間になりました。

とても平和で愛を感じ、幸せな時

間と一緒に過ごすことができました。次回は秋に集まります。



【地域の方にお越し頂けるイベント日程】

九月十日(水) ふれあい保育

九月十七日(水) 公開保育

九月十八日(水) 公開保育

十月十六日(木) ふれあい保育

十一月二十日(木) ふれあい保育

十一月二十九日(土) 父の会剪定作業

十二月十八日(木) ふれあい保育

一月十五日(木) ふれあい保育

二月十九日(木) ふれあい保育

【公開保育】

年に一度、川口市全体でおこなう活動になります。参加が必須ではないですが、ほぼ全園が参加しています。

保育園の利用を希望している方を対象に市内の保育園を予約なしで見学することができます。

保育園を選ぶうえで実際に自分の目で保育

園を見る機会としていただければと思います。

時間は、九時三十分～十一時(時間内であれば何か所でも見学可能)

持ち物…室内履き(スリッパ)

公開保育中の駐車場は利用できません。

川口市のホームページにも記載がございますので、興味がある方はご確認をお願いいたします。

【ふれあい保育】

保育園が地域との交流を図りながら、子育て家庭を支援する取り組みです。

おおむね一歳から三歳のお子様と保護者様が対象で、原則毎月第三木曜日に開催されます。

予約制となっており、実施月の月初め～一週間前までに、鳩ヶ谷園に電話で申し込みただければ、ご参加いただけます！
ぜひご参加をお待ちしております。

詳しくは正光寺保育園 鳩ヶ谷園までお問い合わせください。(鳩ヶ谷園 園長 川島)

埼玉県川口市鳩ヶ谷本町三二二一-八

埼玉高速鉄道線鳩ヶ谷駅徒歩十分

TEL 048-420-9081

FAX 048-420-9082

MAIL hatogaya@sk-j.or.jp



★いっしょに働きませんか？

正光寺保育園では現在、保育士さん・調理員さん（正職員・パート）を募集しています。私たちは「和顔愛語（わげんあいご）」の理念のもと、子どもたち一人ひとりの主体性を大切にしながら、豊かな心を育む保育を実践しています。思いやりとぬくもりに満ちた“**心の保育**”を、私たちといっしょに育んでみませんか？

子どもが好きな方、地域のために働きたい方、大歓迎！未経験の方やブランクのある方も、丁寧にサポートいたします。

園の雰囲気を感じていただける園見学も受け付け中です。まずはお気軽にご相談ください。

★実習・ボランティア・職場体験 参加者募集のお知らせ★

正光寺保育園では、子どもたちの笑顔と成長に寄り添う現場を体験できる「実習・ボランティア・職場体験」への参加者も随時募集しています。

保育士を目指す方、子育て支援に関心のある方、地域貢献をしたい方など、どなたでもご応募いただけます。

子どもたちとのふれあいや、現場での保育士の仕事を体験できる貴重な機会です。経験の有無は問いません。初めての方にも職員がサポートいたします。

【活動内容】

園児との遊び・見守り、行事のお手伝い、環境整備など



【期間・日程】ご希望に応じて柔軟に調整

可能です。未来の保育を支える一歩を、ぜひ

ひ当園で踏み出してみませんか？

ご応募お待ちしております！

【採用・実習・職場体験など

のお問い合わせ】

jinji@sk-j.or.jp

090-8686-2017（川崎）

正光寺保育園 二〇二五年度 新たな挑戦

近年、児童発達支援を必要とする児の数は年々増加傾向にあります。その中で〇〇五歳児の未就学児で特別な支援が必要な子



どもの数は8.2%（診断のある子は3.0%）にのびります。支援制度や療育施設の増加も目立っていますが、地域間でのばらつきと連携の難しさに課題があると感じています。法制度の整備だけでなく、人材の増強も必要と言われています。

今年度、正光寺では新たに児童発達支援の責任者を立てその動きを強化していきま
す。その狙いとは、行政を待たずとも法人
内で解決していくこと。そして、当法人が
掲げている保育方針である「和顔愛語く柔
和な表情とやさしい言葉づかい」がまさ

にこれからの児童発達支援に必要な手段であるからです。また、ここから独自の支援方法や保育士の質の向上、保育士の価値の向上と、正光寺保育園での働きがい
に広げることができたらと考えておりま
す。

発達支援をする上での大きな問題は「配
慮が必要な子どもに障がいである」という
認識に陥ってしまう事にあります。実際
は、そう簡単ではありませんがまず、その
子の「個性」として理解し、受け入れる社
会と相応する人々の認識を作っていかなけ

ればなりません。

一方で、親心として我が子が「個性」（特別な配慮が必要である）ということとは大きな衝撃であることも事実です。はじめから受け入れられる方は、ほとんどいません。だからこそ、その心情に寄り添いながら必要な対応もしくは、療育への誘導をしていくことが必要不可欠です。そのためには、保育所との強い信頼関係の構築が必要であると考えています。

また、保育現場では、個性の範囲であるという前提に立ち、「その子がいるからやりた

い保育ができない」という考え方ではなく「その子も交えて何ができるのか」という考え方で保育をしていくことが大切です。同時に昨今、早期療育の必要性が求められているのも事実です。なぜなら、そういった子どもたちにとって療育は、大きな効果を発揮するからです。家庭環境と保育所のような集団社会での場所において、子どもの動き方は違うものという前提を相互理解することと、保育士と保護者のお互いの信頼のもと、子どもファーストを追求することができることが望ましいと思っています

す。

現在、日本の出生率は減少し続けています。そして、共働き世帯率は増加傾向です。その中で生じる子育て支援、保護者支援としての課題は保育士の務めでもありません。今の日本情勢の中でおかれている保育士の現状を踏まえて、保育所でできるそれらの支援の支えになれるよう、育児相談なども含め新しく正光寺保育園として挑戦できればと思っています。（児童発達支援責任者ウェルビーイング「保育士支援アドバイザー」山下）



怖い話（？）

この寺報が皆さんのお手元に届くころ、暦ではとくに秋という事にはなりません。が、引き続き猛暑であることでしょう。夏の暑さを和らげるため（？）に、夏期には怖い話が風物詩のひとつとされています。

昔から怖い話は、指導者の立場の人たちによって上手に使われてきたように思います。現代の価値観で理解することは憚られるものの、『日本霊異記』に描かれる善因善果悪因悪果に始まり、近現代の「もったいないお化け」に至るまで、教育的な意図が

あるものばかりです。

娯楽として怖い話が本格的に楽しめるようになったのは、江戸時代ぐらいからではないかと思っています。『雨月物語』はその代表的なものの一つです。

一方で、本当に「怖い、よくわからない何か」に悩まされている人達もいます。厄介なことに、本人以外それを認識することはできませんので、他の人にはそれがどのようなものか理解することができません。しかし、本人は嘘をついていない限り間違

いなくそれを認識している、つまり脳で構成して「有る・居る・聞こえる」と認識しているのです。

なんとか、自分を苦しめる「怖い、よくわからない何か」を取り除くことはできないか、時折相談に来られる方がいます。

お寺としてできる事は、内観をして念仏を称えるだけです。それによって「怖い何か」を脳で構成しないよう促します。それによってきれいさっぱり認識しないようになる場合もあります。引き続き認識してしまいう場合もあります。一時的に認識しない

で済むようになる場合もあります。それはまるで風邪や慢性鼻炎などと向き合っている人であるかのようなです。

不完全な私たちは何らかのことに悩まされ苦悩しています。そのことと上手く付き合いながら、あるいは何とかやり過ごしながら、日々を過ごしています。上手くやり過ごすための手段として、お寺が少しでも役に立てればと思うばかりです。（住職）

「一日五分の読書時間」

スマホ、タブレットが普及している現代。様々な情報に溢れていて頭や心が疲れ

たりしませんか？

恥ずかしい話ですが、私は、社会人になって長い間、書籍離れになっていました。

日々の忙しさ、遊び、家事、子育て…色々
と理由はあるものの、同時にSNSの普及により知りたい情報だけでなく、今流行っている物や音楽、ご飯など様々な情報を簡単に得ること、見ることもできるようになり書籍から読み取ることをしなくなっていったと思います。

二〇二〇年コロナ禍となった頃、多くのSNSで様々な情報が行き交う中、今後の不

安もありました。そんな時、SNSで見つけた、「一日五分の読書時間」。

その効果とは、『短くても心を整えるのにと
てもよい習慣』ということでした。

当時の私にとって、五分なら続けられる！
ということと、短時間でも集中して静かな
時間を得ることで次第に「心の習慣」に変
わっていったような気がします。

読書という行為一つでも、楽しみ方はた
くさんあって、かわいい葉を買ってみた
り、ブックカバーを付けてみたり、お香や
アロマを焚いてみたり、美味しい飲み物や

ご褒美スイーツを用意してみたり、自分を
整える行為の多さにあっという間にはまっ
てしまいました。もちろん、心を整えると
いうことにもつながっていたと思います。

最後に私がお勧めする、五分読書の書籍
二冊を紹介します。私は、昔から大のスヌ
ーピー好きなんです。そんなスヌーピーの
作者【チャールズ・M・シュルツ】と詩人
【谷川俊太郎】のそれぞれの言葉を合わせ
た本です。

『心をととのえるスヌーピー 悩みが消え
ていく禅の言葉』

『自分を受け入れるスヌーピー いろいろ
ある世界を肯定する禅の言葉』

一つの言葉に対しての説明も分かりやす
く、かわいいスヌーピーの絵にも癒されま
す。

ぜひ、皆さんも自分が楽しめて、心が整う
五分を過ごしてみませんか？（山下）



暑い季節だからこそ、サウナ

夏の暑さが本格的になると、「これ以上汗をかきたくない」と思ってしまうものです。

しかし、そんな季節だからこそ、あえて

“サウナ”をおすすめいたします。

サウナの魅力は、ただ汗をかくだけではありません。熱いサウナ室でじんわりと身体

を温め、大量の汗をかいたあとの“水風

呂”の気持ちよさは格別です。肌に触れる

冷たい水は、一瞬で意識が研ぎ澄まされる

ような感覚。身体がぎゅっと引き締まり、

心も静まるひとときが訪れます。

その後待っているのが、“外気浴”と呼ばれる時間。椅子に腰かけ、自然の風に身をゆだねる瞬間、体内の熱がずっと引いていき、涼しさが全身に染みわたるような感覚になります。不思議なことに、外の暑さでさえ心地よく感じられるのです。

こうしたサウナ

↓水風呂↓外気

浴の流れを数回

繰り返すこと

で、自律神経が

整い、心身とも





にリセットされていきます。その効果は夜にもあらわれ、サウナのあとには「ぐっすり眠れた」と感じる方が多いのも特徴です。身体の内側からしつかり温まり、適度に冷却されることで、自然な眠気が訪れるのです。

蒸し暑い季節を快適に過ごすために、「とこのう」という感覚をぜひ一度、体験してみてください。

職員 PICK UP 「吉田麗斗先生」

この春、正光寺保育園浦和園に、吉田先生が再び戻ってきてくださいました。

吉田先生は以前、浦和園で保育士として勤務されており、その際に担当されていたクラスの子どもたちや保護者の皆さまとの関係をとても大切にされていました。

一度は、「保育士以外の仕事にも挑戦してみたい」との思いから退職されましたが、牛乳配達と営業を経験する中で、「やっぱり私は子どもと関わる仕事が一番好き」と改めて実感されたそうです。

戻る場所として思い浮かべたのが、あの温かい保育園——正光寺保育園浦和園でした。

取材中には、「最後の勤務の日は、保護者の方々が集まってくださ

り、職員も保護者

も本当に温かく素敵な方ばかりで……この園が大好きなんです」と、笑顔で語ってくださいました。

こうした深いご縁と信頼関係があったからこそ、再び正光寺保育園に戻ってきてくださったのだと思います。

「あるむない採用(Alumni採用)」——かつ



ての仲間が再びご縁を結び、今度は新たな経験を携えて帰ってきてくれる。これは、私たちにとって大きな喜びであり、園の財産でもあります。(新井)

後見活動ということ

一昔前は、人生の推奨モデルがあつて、そこから外れることは幸せでない人生というレッテルを貼られてしまう傾向がありました。それによって苦しむ人もひたでしようし、それによって社会が発展もしてきたでしょう。このことについて善悪を論じるつもりは全くありません。

そのような時代を経て、現代は「おひとり様地代」「後継者がいないのはよくある話」という時代を迎えました。コミュニティも多様化して、参加してもしなくても構わない。コミュニティの規模も大小様々。私たちは気負うことなく、肩の力を抜いて生きていけばよいのです。

「生きらば念仏の功つもり 死なば浄土にまいりなん とてもかくてもこの身には思い煩うことぞなし」

法然上人のお言葉にあるように、生きている間は念仏を称えて日々懸命に過ごすだ

け、死んだら浄土に往くだけです。

浄土に往くのが近づいたと思ったら、右往左往することなく旅立つ準備を楽しみましょう。それが結果として健康な毎日を過ごす秘訣だからです。

お寺では気軽に旅の準備ができます。

理由

- 1、自分が抱えるデリケートな問題について人畜無害のお寺は相談しやすいから
- 2、状況に応じて土業におつなぎできるから
- 3、状況に応じて行政機関への相談へとお

つなぎでできるから

ここー、二年でこれほどまで多くの成年後見に関わる相談の対応を迫られるようになるとは思いませんでした。単純に相談を希望する人の絶対数が増えたという事なのかもしれません。

言わずと知れたことですが、お寺は土業ではありませんので代行はできません。共に歩む活動をしています。貢献活動に必要な諸々の手続き、法律、かかる費用など自力で調べながら、相談に来る人と共に歩みを進めています。

ひとつひとつの対応や活動がその人の人生にとって正解かどうかは分かりません。

本当にその人のためになっているのかどうか自問自答の繰り返しです。ただただ正光寺としてできることは、選択した対応方法や活動が正解になるように不断の努力をしていくことだけだと考えています。(住職)

「内観のひとしずく」

このコーナーが軌道にのるのはいつのことやらですが、千里の道も一歩から。継続していくことが大切です。

コーナー① 内観川柳

内観と念仏に関わる川柳を募集します。

上手くできたことも上手くできない事も、

苦悩も喜びも、面白おかしく川柳にしてい

ただければと思います。

① 雨あがり しずくを見つめ

ありがとう (詠み人知らず)

② あいさつは なかよくなれる

あいことば (詠み人知らず)

③ かがみみて 自分にわらう

ひとめぼれ (詠み人知らず)

④ 人生は 外から見ると

美しい (詠み人知らず)

⑤ なむあみだ なむあみだぶつ

なむあみだ (にゃん)

⑥ 蓮の葉に 輝くしずく

水真珠 (水琴窟)

⑦ 水鏡 心の内を

映し出す (夕凧)

⑧ 背筋伸び 雑念消し去る

香の道 (白檀)

今回は八句の投稿がありました。どれも
素敵な川柳ばかりで興味深いですね。⑤に



ついては、正光寺の職員さんが投稿してくれたものです。

昔、宝満寺というところで法灯国師と一遍上人が参禅問答をしたことがあります。一遍上人は始めに

「となふれば 仏もわれも なかりけり

南無阿弥陀仏の声ばかりして」

とお詠みになりました。すると法灯国師は「仏もわれもないと言いながら、声がまだ残っているではないか」とおっしゃいました。そこで一遍上人は再度考え、

「となふれば 仏もわれも なかりけり

南無阿弥陀仏 なむあみだぶつ」

と詠み直したのです。

ひよっとすると、にゃんさんの川柳はその上をいつているのかもしれませんが。お寺とは無縁の職員さんですが、驚かされるばかりです。

趣旨

「内観のひとしづく」では、日々の念仏や法事、内観の中で感じたささやかな気づきや、心静かに過ごすための一瞬の思いを、皆さまから募集します。どんな小さな体験でも構いません。たとえば、

・今日の念仏の中でふと感じたこと

・心静かに考えたこと

・内観を通して気づいた自分自身の変化や大切なこと

・季節の移ろいの中で感じた、生命の尊さに関する思い

投稿方法・・

・メール、郵送、ファックスまたは寺務所に設置してある「内観のひとしずく」ボックス投函してください。投稿いただいたものは次号以降の寺報に掲載させていただきます

ます。

・投稿は「内観ネーム(ペンネーム)」で承ります。

参加賞

・参加された方には、「いわぶち茶寮無料ドリンク券」を差し上げます。投稿フォーム後に表示される「合言葉」を注文時にお伝えください。(住職)



編集委員メンバー・ボランティアの募集

○Hは、皆さまの心に響く情報を発信するために、編集委員メンバーやボランティアメンバーを募集しております。日々の気づきや思いを共有し、共に「Oin」を作り上げていく熱意あるメンバーをお待ちしています！

🔍 募集内容

○ 編集委員メンバー

- ・記事の企画・構成
- ・原稿の執筆・編集
- ・校正・校閲

・Oinのデザインやレイアウト

○ 御膳衆ボランティア

- ・野菜の栽培・収穫
- ・カフェの準備・運営サポート
- ・地域イベントでの活動支援
- ・仲間との交流と心豊かな時間づくり

○ こんな方を歓迎します

- ・お寺や仏教、内観に興味がある方
- ・地域社会に貢献したい方
- ・文章を書くことやデザインが好きな方
- ・新しいことに挑戦してみたい方
- ・自然や農作業に触れたい方

📧 参加方法

- ・お電話またはメールでお気軽にお申し込みください。
 - ・初めての方も大歓迎です！
- 職員が丁寧にサポートいたしますので、安心してご参加ください。

☎ お問い合わせ先

正光寺 総務

電話番号：〇三ー三九〇ー二〇一七

メールアドレス：houji@sk-j.or.jp

心温まるOinづくりや野菜栽培、カフェ運営に、ご興味がある方のご参加を心よりお待ちしております。ぜひ一緒に「Oin」を育てていきましょう！

メールアドレスご登録の御礼とお願い

このたびは、メールアドレスのご登録にご協力いただき、誠にありがとうございました。お寄せいただいたアドレスは、今後の寺報の運営に活用させていただきます。

また、メールアドレス未登録の方につきましては、是非ご登録の申請をお願いいたします。メールアドレス登録の際は、以下の点につきましてご理解とご協力をお願い申し上げます。

一、いただいたメールアドレスは、寺報に関する運営目的以外には使用いたしません。外部への提供も一切行いません。

一、メールアドレスの変更や、今後の登録辞退をご希望の場合は、お手数ですが事務局までご一報ください。

一、今後は、皆さまのお声を紙面に反映していけるような工夫を進めてまいります。ご感想やご意見など、ぜひお寄せください。

これからも、皆さまと共につくる寺報を目指し、歩みを進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(総務)

新しい寺報作り

今春から、寺報の充実を目指したりリニューアルを進めております。

《寺報のデジタル化》寺報をwebで確認できるようにし、郵送物や紙の使用を抑え環境に配慮していきます。

《参加型寺報》お寺からの一方通行であった寺報を参加型の寺報へと転換していきます。

《公開された寺報へ》会報誌であった寺報を一般の方にも公開し自由に閲覧、参加できるようにしていきます。

性急に変えていくのではなく、徐々に改變していきますのでご理解とご協力をお願いします。

いたします。

今回の成果は、

- ① 保育園に関する情報量を増やしました。
- ② 双方向型寺報として歩みを進めることができました。

今回の課題は、

- ① 情報量が多く内容が多岐にわたった結果、全体のバランスや読みやすさにやや課題が残りました。

次回に向けて、

- ① 内容や情報量のバランス再検討
 - ② 双方向型寺報への継続的参加促進
 - ③ 協賛企業の参加促進
- 引き続きご協力をよろしくお願いします。

(住職)

各種振込先

振込先は本年三月より「りそな銀行 王子支店」へ変更となっております。

○護持会費 振込先

りそな銀行 王子支店 普通 「一九六〇四四七」

しゅうきようほうじんしょうこうじだいひょうやくいんたかはしじゅこう
宗教法人正光寺代表役員高橋寿光

○行事・法要・卒塔婆代・お布施 振込先

りそな銀行 王子支店 普通 「一九六〇四五四」

しゅうきようほうじんしょうこうじだいひょうやくいんたかはしじゅこう
宗教法人正光寺代表役員高橋寿光

お振込の際には、御当主様のお名前と行事名（例：「キネンエ」など）を明記願います。

す。納骨堂利用料についても、同じ口座へお振込みをお願いします。ミスのない合理的な会計管理のため、振込のご利用にご協力をお願いします。

※お振込みの場合は銀行の振込受領書にて領収書に代えさせていただきます。（総務）

今号の寺報「Orin」も、無事皆さまのお手元にお届けできましたこと、心より御礼申し上げます。お忙しい中、ご協力くださった執筆者の皆さま、行事を支えてくださった関係者の皆さまに深く感謝いたします。

今号では、心に響く法話、静岡のお茶や八丁味噌の心遣い、そして地域の皆さまとの温かな交流まで、正光寺ならではの「内観と念仏」が随所に息づいていました。とりわけ、いわぶち茶寮での食の活動や、子どもたちの育ちを支える保育園での取り組みは、読者の皆さまの生活にも何かしらのヒントをもたらしたのではないのでしょうか。

また「怖い話」や「一日ご分の読書」といったコラムには、季節感とともに現代の心の在り方が反映されており、寺報の役割が単なる告知や報告にとどまらないものであることを、あらためて実感しました。

この寺報は、僧侶や保育者、ボランティア、そして地域の皆さまの力によって作られています。「誰かのために」と動いた一つひとつの手と心が集まり、この紙面に温もりを与えています。

次号もまた、皆さまの声や思いを反映した誌面づくりを目指してまいります。引き続きご意見、ご感想、そして「内観のひとしずく」へのご投稿をお待ちしております。

日々の中でふと手に取りにくくなるような、そんな寺報であり続けられますように。

(安達)

編集委員

・編集長：安達 歌菜
・副編集長：川崎 双葉
・編集委員：桑原 史奈

新井 麻理奈

森 実里

黒羽 萌実

泉 直人

廣瀬 彩華

倉持 佳恵子

猪合 由実

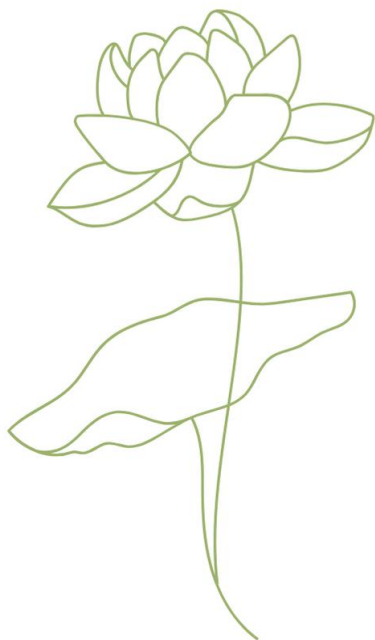
小山 みどり

杉本 史

春川 貴美

川島 快友

山下 陵子





公式サイト



「内観のひとしずく」
投稿フォーム



メールアドレス
登録フォーム



公式 SNS

過去活動や情報をチェック



Instagram



X
(旧 Twitter)

